

溺れる金魚

晴流奏

短歌集



こんにちは。

どれみふあそらいろ歌人 晴流奏と申します。

以前からネットで配信出来る様な物を作りたいと思っていたので
試しに作ってみました。

ぶつぶつと泡を吐き出す金魚の様な

切ない恋心を詠った歌を集めてみました。

ふとした日常の隙間に読んでいただけたら幸いです。

フリーペーパーなのでもし気に入ったら

ダウンロードして楽しんで貰えると嬉しいです。

空蝉の出会いに感謝してありますあなたの空は何色ですか？

晴流奏

溺れる金魚

君の名を呟いてみる水の中泡を吐き出す金魚みたいに

王子って柄じゃないからせめて君のかぼちゃの馬車に僕はなりたい

君の背に描く小さな片想い波打ち際のハートみたいに

コーヒーにミルクを混ぜる勢いで私の色も変えてくれぬか

目が合うと見せる笑顔は君にだけ誰も知らない秘密なんだよ



カエルのまま会いに来ましたキスをして元の姿に戻して欲しい
僕のするキスより甘いチョコレート頬張る君に苦笑いする

ソロピアノ奏でる僕にタムタムのリズムを刻む君のくちづけ

苦い恋嫌がる君の甘いキスは背伸びして飲むコーヒーの味

キスしても進む秒針残された時間は少ないのかも知れない



ほの甘く交わす言葉の幸せの分だけ丸く満ちていく月
良い人でこのまま終わらせるともり？この胸にある鐘を鳴らして

『驚きの薄さ0.02ミリ！！』僕らの壁は誠意でもある

泣き顔は見たくないから下手くそな応急処置のつもりの言葉

こみ上げる笑いを堪え僕を見る君の潤んだ瞳が愛しい



溺れる金魚。

<http://p.booklog.jp/book/26432>

著者 : harurukanade

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/harurukanade/profile>

発行所 : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/26432>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/26432>

